ナ シ 生 育 情 報

開花期は平年並かやや早くなりました。着果は並~良好な地域が多くなりました。果実肥大は良好です。

【気 象】

表1. 令和6年2~5月の気象(アメダス佐倉)

	平均気温 (℃)				降	水量(mm)	日照時間(hr)		
月	半旬	本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年
2月		6. 7	5.9	4.8	71	39	58	145	170	170
3月		8.6	11.9	8.3	154	101	109	200	172	170
	1	13. 1	12.9	11. 1	28	0	21	15	42	30
	2	14. 2	15.3	12. 1	61	8	21	17	32	30
4月	3	15. 1	17. 1	13.0	0	32	20	40	36	29
4 月	4	17.7	16.0	13.9	2	3	18	32	32	29
	5	16.8	14.7	14. 7	18	0	17	11	28	29
	6	20.2	17.8	15. 7	3	18	16	23	31	31
月平均/計		16. 2	15.6	13. 4	110	61	113	138	200	180
5月	1	17. 5	17.8	16.6	43	1	16	49	56	31
3月	2	17.6	16. 2	17. 1	19	133	19	21	33	29

注1) 平年は平成3~令和2年の30年間の平均

【生育状況】

■開花・結実

2月の気温は平年より 1.9℃高くなりました。そのため、本年の自発休眠(低温を必要とする休眠) 覚醒日は、前年より 10日以上遅く2月下旬~3月上旬となりました。

3月の気温は平年より 0.3 で高く、前年のような極端な高温にはなりませんでした。農林総研の開花盛は「幸水」が4月12日、「豊水」が4月8日で、前年と比べ「幸水」、「豊水」ともに 10 日遅く、平年と比べ「幸水」で2日、「豊水」で4日早くなりました(表2)。

着果は、農林総研では「幸水」はやや良、「豊水」は並、市川市の「幸水」は良、鎌ケ谷市の「豊水」は並でした。

■果実の肥大

5月 10 日の果実の大きさを満開後日数の横径の平均値で比較すると、「幸水」では農林総研が 109 %、市川市が 123%と平年と比べ大きくなりました(表 2)。「豊水」では、農林総研が 108%、鎌ケ谷市が 106%と平年と比べやや大きくなりました。 4月の気温が平年より 2.8 $^\circ$ 高かったため、初期肥大が良好になったと考えられます。

表2. 基準調査園における生育調査(5月10日)

品	品調査地	樹	開花期(月/日、(日))				横径 (cm、(%))			縦径 (cm、(%))		
種	齢	始	盛	終	状況	果径	曆日	満開後	果径	曆日	満開後	
幸	農林総研	20	4/8(-9,+2)	4/12 (-10, + 2)	4/17(-11, + 3)	ヤ良	2.09	(81, 119)	(- , 109)	1.86	(78, 111)	(- , 104)
水	市川市	39	4/10(- 8, + 3)	4/13 (- 8, + 3)	4/16(- 9, - 5)	良	2.35	(96, 134)	(- , 123)	2.01	(91, 119)	(- , 112)
豊	農林総研	44	4/5(-11, + 2)	4/8(-10, + 4)	4/15(-12, + 2)	並	2. 34	(88, 123)	(- , 108)	2.34	(90, 122)	(- , 110)
水	鎌ケ谷市	20	4/6(-10, + 5)	4/10 (- 9, + 5)	4/17(-11, + 2)	並	2.27	(86, 124)	(- , 106)	2. 18	(85, 117)	(- , 103)

注1) 開花期の()は、前年及び平年との差を示した。一は遅い、+は早いとした。

²⁾ 数値は、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

²⁾ 横径及び縦径の()は、前年及び平年の値を100とした比で表した。

【栽培管理のポイント】

■本摘果の実施

「幸水」等の早生品種は早急に実施しましょう。「幸水」及び「豊水」の本摘果後の着果数は、裂果や軸折れの発生を見込んで、目標収穫果数の約10%増しにします。

■新梢管理

翌年の短果枝の花芽を確保するため、果そう葉から2次伸長した新梢は、5月~6月上旬の短いうちに、果そう葉の2芽上(葉のない芽)で摘心します。摘心は側枝背面の果そうから発生したもの、側枝基部付近等を優先するとともに、樹勢等を考慮し過度の実施は避けてください。

■「幸水」の予備枝の育成

先端の新梢以外で伸長するものは、3葉残して摘心します。主枝や亜主枝から発生した予備枝候補の新梢は仰角30°程度に誘引します。

■病害虫対策

千葉県(5月17日発表)の病害虫発生予報によると、向こう1か月間の予想発生量は、カメムシ類が多、黒星病とアブラムシ類が並となっています。カメムシ類の防除については、千葉県(5月10日発表)の病害虫発生予察注意報第1号を参考にしてください。

気象庁(5月16日発表)によると、6月17日までの予報として、気温は高くなり、降水量は平年並かやや多く、日照時間は平年並かやや少なくなると予測されています。黒星病菌の感染最適温度は17~18℃です。この程度の気温下で降雨等により濡れた状態が続くと、黒星病が感染しやすくなるので注意が必要です。黒星病のスス状の病斑がある果そうや果実等は見つけ次第除去し、土中に埋めるか園外に持ち出します。6月下旬頃までは、発病葉は取り除きます。黒星病の発生が多い園では、病斑のある葉や果実の除去を徹底するとともに、散布間隔があく場合は臨機防除を行います。ただし、治療効果のあるDMI剤は連用すると耐性菌出現の可能性があるので、使用は年3回以内とします。

表3. 協力調査地における生育調査の結果(5月10日)

品種	調査地	樹齢 -	開花期(月/日)				吃	果径(cm)			病害虫発生状況	
口口作里			始	盛	終		兄	横径	縦径	状況	及び特記事項	
幸水	市原市	17	4/13 (4/ 3) 4/15 (4/5)	4/18 (4/7) 並	1.9	6 (2.69)	1.85 (2.42) 良	シンクイムシ有、アブラムシ有	
	木更津市	24	4/10 (4/ 1) 4/15 (4/5)	4/19 (4/9) 並	2.0	5 (2.70)	1.87 (2.60)やや良		
	印西市	26	4/10 (3/31) 4/12 (4/3)	4/17 (4/8) 並	2.1	6 (2.67)	1.9 (2.42)やや良	アブラムシ有、カメムシ有	
	柏市	13	4/8 (3/31) 4/12 (4/3)	4/17 (4/9) 並	2.2	7 (2.64)	1.97 (2.29) 良		
	いすみ市	35	4/10 (4/2) 4/14 (4/5)	4/18 (4/8) 並	2.4	6 (2.46)	2.4 (2.32) 並		
	一宮町	25	- (4/4) 4/15 (-)	- (4/6) 並	1.7	0 (2.76)	1.50 (2.45)やや良		
	香取市	31	4/11 (4/ 1) 4/15 (4/3)	4/20 (4/10) 並	2.0	5 (2.23)	1.91 (2.15)やや良		
豊 水	八千代市	18	4/6 (3/24) 4/10 (3/30)	4/18 (4/5) 並	1.9	6 (2.41)	2.00 (2.36) 並		
	館山市	21	4/8 (3/31) $4/13$ ($4/3$)	4/17 (4/5)やや	多 2.2	2 (2.23)	2.24 (2.31) 並	黒星病有	
	旭市	26	4/ 7 (3/30) $4/10$ ($4/$ 1)	4/14 (4/4) やや	多 2.3	7 (2.70)	2.26 (2.59) やや悪	アブラムシ有	
	香取市	21	4/8 (3/30) 4/10 (3/31)	4/15 (4/5) 並	2. 2	7 (2.67)	2.04 (2.43) 並	カメムシ有	
	四街道市	11	4/ 5 (3/26) 4/11 (4/1)	4/15 (4/4) 🖠	2.4	7 (2.58)	2.43 (2.66) 並		
あきづき	鎌ケ谷市	25	4/6 (3/26) 4/12 (4/1)	4/17 (4/5) 並	2.2	3 (2.59)	2. 12 (2. 45) 良		
	船橋市	13	4/7 (3/28) 4/13 (4/1)	4/21 (4/6)やや	多 2.0	8 (2.59)	2.12 (2.45)やや良		
	松戸市	26	4/10 (3/30) 4/13 (4/1)	4/16 (4/3) 並	2.2	9 (2.62)	2.06 (2.71) 良	5/9調査	
	いすみ市	15	4/8 (3/29) 4/13 (4/2)	4/18 (4/6)やや	少 1.9	0 (2.38)	1.70 (2.19) やや悪		

注) () 内の値は、前年の値を記載した。

【生育情報の発行元:千葉県農林水産部生産振興課園芸振興室】

【生育情報の問合せ先:千葉県農林総合研究センター 果樹研究室 電話 043-291-9989】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html